

# 報 告 書

開催日時	平成28年10月17日(月) 19時30分～21時10分				
自治協議会名	島ヶ原地域まちづくり協議会	開催場所	島ヶ原会館		
出席議員	上田 宗久、田山 宏弥、安本 美栄子				
	司会者	上田 宗久	記録者	田山 宏弥	報告者
参加人数	14 名				

## 【主な意見・提言等】

- ・議案第155号 定住自立圏形成協定で規定された具体的事項の内容は何か。  
→「協定書の内容が細かいので地区市民センターにコピーを設置する」と回答。
- ・議案第145号 職員の介護休暇制度について他市の状況と問われ「県内の他市は実施していない」と回答。
- ・議案第151号 上野歴史民族資料館条例廃止の否決の理由について「上野歴史民族資料館が所蔵している資料を柘植と大山田の資料館で展示するにあたって、活用方法が明確でないため、再度検討を要するという事で否決した」と回答。
- ・請願第31号 伊賀鉄道の利用者を増やす制度制定を求めることについて「島ヶ原地区として行政バスの無料パスを提案できるのか」との間に「この請願は議会としては可決をしたので、この事業を実施するかは市が今後検討していく」と回答。
- ・島ヶ原老人福祉センター清流の条例廃止について、現在、社会福祉協議会が運営していくということが決まっている。しかし、デイサービス以外にも、配食、サークル活動、老人の就労についてもこの施設が拠点となっているのでデイサービスだけの問題ではない。  
また、まめの館について、市民全体の温泉施設であるにもかかわらず、この施設を廃止するという事には納得できない。地元や住民自治協議会に対して市からの事前の説明や話し合いの場がないまま事が進められている。  
→「島ヶ原老人福祉センター清流とまめの館」については、市、支所、住民自治協議会の話を整理するために調査をさせていただく」と回答。
- ・空き家対策において現在3組の方が島ヶ原に定住している。行政は、契約をしてから地域にと言うが、先に地域に入ってもらい、説明や話し合いをしてから契約するべきである。
- ・マスコミ発表の前に、議員全員協議会で話し合いが行われたというマスコミの記事を見たが、市民の見えるところで物事がわかるようにしてほしい。
- ・将来の街のあるべき姿は何か。住民の想いをくみ取った上での市政運営を期待する。
- ・島ヶ原は県境にあるため、ゴミの不法投棄が多い。対策をとってほしい。景気のよかった時に業者が土地を買い、転売を繰り返しているため持ち主が分からない。
- ・行政は、ハコモノを減らして機能は減らさないと言って、地域に役割を押し付けてくる。無償ボランティアといわれても厳しい。地域も手一杯なのでもう少し吟味してほしい。

伊賀市議会議長 様

平成28年10月18日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成28年度議会報告会4班

班長 上田 宗久